

児童発達支援センター くるーる

(児童発達支援・放課後等デイサービス
居宅訪問型児童発達支援・保育所等訪問支援)

営業日 月曜日から土曜日(祝日も営業しています。)
(ゴールデンウィーク、お盆、お正月など休業になることがあります。)

営業時間 8時30分から17時30分

サービス
提供時間 9時から15時30分

送迎 ご家庭や所属園・校に必要なに応じて
送迎することができます。

所在地 高梁市高倉町大瀬八長1656番地1

連絡先 (0866)56-3946
夜間・緊急時 090-7376-4877

令和7年2月24日 作成

colorの理念

communication

お子さん、ご家族、お子さんの通われている園や学校、さまざまな専門職、地域の方々とコミュニケーションをとっていきます。また、スタッフ間の日常的なコミュニケーションをとることを大切にします。

our community

地域の中で必要とされる社会資源のひとつとなることができるように努めます。地域の状況、ニーズを確認しながら、私たちにできることを一つずつ積み重ねていきます。

responsibility

与えられた業務ひとつひとつに責任をもち取り組みます。他の専門職とも連携をとり、互いの強みを活かしながら、最後まで業務を達成することを目指します。

opener

今何を必要とされているか地域に足りていないところは何か、福祉サービスだけでなくNPOとしてできることを考え取り組んでいきます。

love

利用者の方にも、ご家族にも地域にも愛情をもって接します。スタッフも互いに愛情をもって関わることで、働きやすい職場環境をつくれます。

支援方針①

～支援の流れ～

お子さん・ご家族の ニーズの聞き取り

お子さん、ご家族がどんな生活を希望しているかを教えていただきます。少し先の成長したお子さんのイメージを共有させてください。

お子さん、ご家庭等 アセスメント

事業所をご利用いただきお子さんができること、少し苦手なこと、できかけていることを確認していきます。ご家庭での様子を含めて成長の確認をします。

支援計画 作成

お子さん、ご家族のニーズやお子さんの理解や特性、学び方を考慮し、約6ヶ月で達成できそうな目標を設定していきます。現在の生活の中で優先すべきことをご家族等と一緒に検討していきます。

支援計画に基づく 支援の実施

支援計画に沿って、実際に支援を提供していきます。お子さんの特性、学び方をふまえながらお子さん一人ひとりに合った支援方法を検討し、楽しみながら学ぶことができるようにしていきます。

目標の達成状況 今後の課題の確認

支援計画の評価を行います。計画策定時と比較し成長したところ、どのような関わりがお子さんの学びにつながったかなどを評価します。また、次の課題も一緒に確認していきます。

支援方針②

～スクラム作戦

それぞれの役割～

園・学校

初めて経験する集団活動の場面です。友だちとの関わりを通じた社会性の成長、個々に応じた学習などお子さんが今後の社会生活において必要な力を身に付けることができるような支援をお願いします。

児童発達支援 センターくるーる

個別に応じた支援を通じて、お子さんの「できた」「もっとやりたい」を伸ばせる支援を提供します。お子さん一人ひとりの学び方、特性に合わせた支援していきます。

相談支援

家庭、園や学校、地域等でのどのような生活を希望するかを確認してください。必要な福祉サービスやその他の社会資源とつなぎ、利用の状況や今後の課題を共有させてください。

お子さん

お子さんを中心に関係機関がそれぞれの役割を持ち、連携していきます。やりたいことやたのしいことを見つけてください。

地域資源

福祉サービス以外にも塾や地域イベント、日常の買い物などで学ぶことができます。地域の一員として活躍できるように地域の中での見守りをお願いします。

家族

お子さんらしい成長のために、日々の生活の中で生活リズムを整えること、愛情をたっぷり注ぐこと、できたことをしっかりほめることなど家族にしかできない役割をお願いします。

5領域の支援

健康・生活

お子さんがの心と体の健康を確認していきます。睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられ寮にご家族と一緒に支援していきます。また、構造化等により安心して学べる環境づくりをしていきます。

運動・感覚

姿勢の保持や運動機能などを確認していきます。持たれている感覚機能を十分に活用できるように支援をしていきます。また、感覚の特性(過敏や鈍麻)をふまえて環境を整理をしていきます。

人間関係・ 社会性

相手を意識して真似をしたり、遊んだりしながら社会性や対人関係の芽生えを支援します。また、感情のコントロールや相手への気持ちの伝え方なども学べるように取り組んでいきます。

言語・ コミュニケーション

お子さんに合わせたコミュニケーション方法を探り人とのコミュニケーションを楽しむことができるように支援します。また、相手を意識し、場面に応じたやり取りができるように支援していきます。

認知・行動

お子さんが理解できていること、芽生えていることを確認しながら、できる力を伸ばすことができるように支援していきます。認知の特性を踏まえて、個々の学び方に合わせて伝えていきます。

支援プログラム (児童発達支援)

先生とお勉強

スタッフと1対1で、お子さんに合わせた課題に取り組みます。今、どんなところが芽生えているかを判断しながら、少しずつ「できた」経験を積んでい行くことができるように支援します。

ひとりでお勉強

一人で最後までできる課題を設定します。お子さんが自信をもってできた、最後までできた経験を積むことができるように支援します。また、集中力も養っていきます。

生活の支援

食事、着替え、排泄など生活場面での支援を行います。日常生活の中で必要なスキルを獲得していきながらお子さん自身でできたこと、自分でやりたいことを増やしていきます。

遊びの支援

おもちゃ等を介してスタッフやお友だちと楽しくやり取りができるように支援します。遊びの幅を広げながら、お友だちとの関わり方を学んだり、先生とお勉強でできるようになったことを活かしていくことができるようにします。

小集団療育

保育園や子ども園等での活動をイメージしながら少人数での活動を設定します。お友だちを意識して活動したり、遊びのルールを守ったり順番を待ったりする力を身に付けていきます。

支援プログラム

(放課後等 デイサービス)

生活・余暇支援

療育(発達支援)の取り組みを日常生活の中で活かせるようにしていきます。調理活動や食事など実際の場면을体験して、できる力を伸ばしていきます。

遊びの支援

おもちゃ等を介してスタッフやお友だちと楽しくやり取りができるように支援します。相手の意図を理解したり、自分の考えや思いを伝えながら友だちと関わるができるように支援します。

先生とお勉強

スタッフと1対1で、お子さんに合わせた課題に取り組みます。学校や社会の中で必要なルールなども身に付けていきます。また、学校等で困ったこと、不安なことなどの相談も聞きながら一緒に解決方法を探っていきます。

ひとりでお勉強

一人で最後までできる課題を設定します。必要に応じて学校の宿題に取り組むこともできます。周りにお友だちがいても集中して最後までできる力も養っていきます。

小集団療育

学校や社会的な場面をイメージしながら少人数での活動を設定します。遊びのルールや順番を守る力、先生に相談できる力、お友だちに気持ちを伝える力、また指示に沿って行動する力等を身に付けていきます。

支援プログラム (居宅訪問型 児童発達支援)

生活の支援

お子さんのバイタルや全身状態などを確認しながら、生活リズムを整え健康的に日中の活動を行うことができるように支援します。

遊びの支援

おもちゃ等を介してお子さんの興味を活かした活動を提供します。見る、聞く、触るなどの行動からさまざまな感覚を養い、楽しめる遊びを増やしていきます。

先生とお勉強 (コミュニケーション)

ご家族以外の人とも関わる経験を積んでいき、社会性を高めていきます。安心して関わるができる人を増やしていきます。

先生とお勉強 (身体活動・操作)

指先や体を使った活動を通じて、生活の中で必要なスキルを身に付けていくことができるようにします。

先生とお勉強 (運動・感覚)

感覚に働きかける遊びを通じて、視覚、聴覚、触覚、嗅覚などの感覚を刺激して、体と心の成長・発達を促していきます。

主な行事・活動

法人行事

- ・なつまつり
- ・スタンプラリー
- ・ウィンターフェスティバル

colorの活動を知っていただく機会の1つとして企画しています。地域の方々と一緒に行事を楽しみます。

春

- ・お花見
- ・おひなさま
- ・こどもの日
- ・遠足

あたたかく春の季節を感じながら新しい生命を芽生えを感じていきます。

夏

- ・七夕
- ・プール・水遊び
- ・虫取り

暑い中でも子どもたちは元気いっぱい。冷たい水の感覚を楽しみます。

冬

- ・クリスマス会
- ・とんど
- ・節分

雪が降ると子どもたちは、ますます元気に。雪だるまできるかな。鬼も退治して元気いっぱい過ごします。

秋

- ・ミニ運動会
- ・落ち葉、木の実拾い
- ・ハロウィン

運動会では、家族と一緒に元気いっぱい走り回ります。「おやつをくれないといじわるしちゃうぞ」と地域の中に出かけていきます。

その他の支援

家族支援

日々のご利用の前後でお子さんの成長に関する相談をお聞きします。また、希望に応じて個別相談も受け付けています。ペアレントトレーニングや親の会のご紹介もしています。

移行支援

スクラム会議を通じて就園、就学、就職先との情報を共有していきます。お子さんができていること必要な支援をお伝えすることで次の機関へお子さんがスムーズに移行し、楽しく過ごせるように支援していきます。成長の記録ファイルも活用していきます。

スタッフ研修

スタッフの支援の質の向上のため、定期的に外部講師による研修、専門職アドバイザーによる指導を受けています。また、スタッフ同士で知識や技術を高めるため研修やケース検討を行っています。

地域連携

移行の時期だけでなく、少なくとも年に1回はスクラム会議（所属先を含めて会議）を実施し、お子さんの成長や課題を確認していきます。所属先だけでなく、医療機関や保健師、学童など関係する機関と連携していきます。

地域支援

児童発達支援センターとして地域の中核的機能を活かすことができるよう、地域住民への啓発、児童発達支援事業所へ助言、研修を実施します。また、ボランティア、実習生等を積極的に受け入れていきます。